

北関東のページ

06-07地方選

真つすぐに
住民の願い議会へ

「私の日本共産党員と爆破訓練場の誘致を阻止しての活動の原動力は、一九七〇年代初めの自衛隊た。平和への思いは人一倍です。北海道、東北からリレーされる夏の国期間で多くの署名を集め、地域住民と運動し、核兵器廃絶



ねもと・よついち 期。現在、日立市との一九四七年二月、日合併で同市議。党地区立市(旧十王町)生まれ。千葉県立千葉大学農学部別科修了。十王町議七

の願いを胸に歩きます。

町議25年務め
要求実現に力

日立市と合併する前には二十五年間、十王町議として活動。学校給食の充実や乳幼児医療費の助成拡大などの実現に力を注ぎました。水田三穂を耕作する農家で、県北農民センターの会長をつとめています。十王が鶏(う)の休息地であることから、自分の水田で生産したコメには「鶏舞米(うまいべこ)とネーミング、産直や地元の物産センターなどを通じて消費者との交流を続けています。

「茨城は全国有数の農業県でありながら、園芸作物などの研究体制は貧弱。小さい農家を含め農業をやりたい農家を育て

根本陽一県議候補(茨城・日立市選挙区 定数5)

企業城下町に議席を

る施策が必要だ」と語ります。県政全体については「ズバリ大型開発優先、福祉、医療切り捨て」と一刀両断。

日立市といえは日立製作所発祥の地。同社の企業城下町です。「日立製作所は、労働者を犠牲にしてもうけ主義に走っている。社会的責任も果たしていない。市議会では日立製作所出身議員が率先して市民いじめの『行革』の旗振り役を担っている」といいます。日立製作所日立事業所で〇四年九月に起きた死傷事故では、大門史郎参院議員らとともに労働基準監督署と交渉。労働者への補償と職場環境の改善などを要求してきました。

日立選挙区には、かつて日本共産党の議席がありました。その議席が「ようちん日記」を二

オール与党
風穴あけたい

「日立選挙区には、かつて日本共産党の議席がありました。その議席が「ようちん日記」を二

独学でパソコンを駆使し、党日立市議団のホームページの管理人をつとめる。みずからブログ挑戦、議席奪回に全力です。